

開講科目名 / Course	基礎プログラミングA(PM6) / Introduction to Programming A
時間割コード / Course Code	P30A2031A
時間割所属 / Course Offered by	湘南キャンパス /
ターム・学期 / Term・Semester	2025年度 / Academic Year 春学期 / Spring Semester
開講区分 / semester offered	春学期 / Spring Semester
単位数 / Credits	2.0
学年 / Year	1,2,3,4
主担当教員 / Main Instructor	阿部 秀尚
担当教員名 / Instructor (担当教員所属名 / Affiliation)	阿部 秀尚 (情報システム学科 /)
サブタイトル / Subtitle	
研究室 / Laboratory	3308
連絡先 / Contact address	manabaに掲載する.
授業概要 / Course Overview	プログラミングがなければ情報社会は成り立ちません。この授業ではプログラミング言語 "Python" を使ってプログラミングの基本的な考え方や作り方を学びます。Pythonは、近年、機械学習やディープラーニング (深層学習) の分野で注目を浴びているだけでなく、国家試験の基本情報技術者試験でも採用されるなど教育分野での活用も期待されています。また、オブジェクト指向言語でもあり、高学年のプロジェクト演習でのソフトウェア開発にも活用できる高い汎用性もあります。プログラミング初心者を対象としますが、経験ある学生は基本を確認する機会として履修をするようにしてください。
到達目標 / Goals	Pythonの基礎的なプログラミンができるようになること。
授業外での学修 (予習・復習) / Study outside of class (preparation and review)	教科書を用いた講義の予習をすることが望ましいが、各回の講義内容に関し、次の講義までに、ノートや教科書を用いた復習を優先すること。
授業外学修時間 / Study time outside of class	各授業回の事前事後で合わせて4時間以上の授業外学修を要する。
評価方法 / Evaluation method	毎回の授業で出すプログラミング課題の提出状況と、期末試験により評価する。
評価基準 / Evaluation criteria	毎回の授業で出すプログラミング課題と期末試験の点数を合算し、60%以上で合格とする。
フィードバック / Feedback	提出された課題の模範解答を適宜公開し、学修内容の深化を促す。
授業で使用するテキスト / Textbooks used in the class	独習Python, 山田 祥寛 (著), 翔泳社
参考書 / References	必要となる場合は、授業内で紹介します。
受講者へのメッセージ / Message to participants	皆さんは将来、上流工程に関わるSEになるかもしれません。その際、プログラミングを知らなければ優秀なSEにはなれないでしょう。また、プログラミングを学習することで、物事を論理的に分析する力や、粘り強く課題を解決する能力も身に着けられます。これらは、将来社会人となる、皆さんにとって、単なるスキルではなく、これからの時代を生きるための重要な教養として大きな価値を持つものです。ぜひ頑張ってこの学びを楽しんでください。

実務経験のある教員に関する情報
/ Information about teachers
with work experience

授業計画詳細 / Course schedule

回	内容	備考
1	イントロダクション： ガイダンスとPythonのルール	
2	Pythonの基本： 変数とデータ型	
3	演算子： 算術演算子，代入演算子，比較演算子，論理演算子，ビット演算子，演算子の優先順位と結合則	
4	制御構文： 条件分岐，繰り返し処理，ループの制御，例外処理	
5	これまでの総合課題	
6	開発環境の準備 標準ライブラリ 基本： ライブラリの分類，日付/時刻のデータ型と計算	
7	標準ライブラリ コレクション： シーケンス型（配列），辞書（dict）型，セット（集合）型 ファイルによる入力、文字列操作と正規表現	
8	標準ライブラリ その他： シーケンス型と辞書型を用いた複雑なデータの取り扱い データの視覚化、ファイルへの出力	
9	これまでの総合課題	
10	ユーザー定義関数： ユーザー定義関数の基本，変数の有効範囲（スコープ），引数のさまざまな記法，関数呼び出しと戻り値	
11	ユーザー定義関数 応用： デコレーター，ジェネレーター，関数のモジュール化，非同期処理，ドキュメンテーション	
12	オブジェクト指向構文： クラスの定義，カプセル化，継承，ポリモーフィズム	
13	オブジェクト指向構文 応用： 例外処理，特殊メソッド，データクラス，イテレーター，メタクラス	
14	これまでの総合課題	
15	総合復習	

開講科目名 / Course	基礎プログラミングA(PM7) / Introduction to Programming A
時間割コード / Course Code	P30A2031B
時間割所属 / Course Offered by	湘南キャンパス /
ターム・学期 / Term・Semester	2025年度 / Academic Year 春学期 / Spring Semester
開講区分 / semester offered	春学期 / Spring Semester
単位数 / Credits	2.0
学年 / Year	1,2,3,4
主担当教員 / Main Instructor	武藤 剛
担当教員名 / Instructor (担当教員所属名 / Affiliation)	武藤 剛 (情報システム学科 /)
サブタイトル / Subtitle	
研究室 / Laboratory	3309
連絡先 / Contact address	muto@bunkyo.ac.jp
授業概要 / Course Overview	<p>プログラミングがなければ情報社会は成り立ちません。この授業ではプログラミング言語 "Python" を使ってプログラミングの基本的な考え方や作り方を学びます。Pythonは、近年、機械学習やディープラーニング（深層学習）の分野で注目を浴びているだけでなく、国家試験の基本情報技術者試験でも採用されるなど教育分野での活用も期待されています。また、オブジェクト指向言語でもあり、高学年のプロジェクト演習でのソフトウェア開発にも活用できる高い汎用性もあります。プログラミング初心者を対象としますが、経験ある学生は基本を確認する機会として履修をするようにしてください。</p>
到達目標 / Goals	Pythonの基礎的なプログラミンができるようになること。
授業外での学修（予習・復習） / Study outside of class (preparation and review)	教科書を用いた講義の予習をすることが望ましいが、各回の講義内容に関し、次の講義までに、ノートや教科書を用いた復習を優先すること。
授業外学修時間 / Study time outside of class	各授業回の事前事後で合わせて4時間以上の授業外学修を要する。
評価方法 / Evaluation method	毎回の授業で出すプログラミング課題の提出状況と、期末試験により評価する。
評価基準 / Evaluation criteria	毎回の授業で出すプログラミング課題と期末試験の点数を合算し、60%以上で合格とする。
フィードバック / Feedback	提出された課題の模範解答を適宜公開し、学修内容の深化を促す。
授業で使用するテキスト / Textbooks used in the class	独習Python, 山田 祥寛 (著), 翔泳社
参考書 / References	必要となる場合は、授業内で紹介します。
受講者へのメッセージ / Message to participants	<p>皆さんは将来、上流工程に関わるSEになるかもしれません。その際、プログラミングを知らなければ優秀なSEにはなれないでしょう。また、プログラミングを学習することで、物事を論理的に分析する力や、粘り強く課題を解決する能力も身に着けられます。これらは、将来社会人となる、皆さんにとって、単なるスキルではなく、これからの時代を生きるための重要な教養として大きな価値を持つものです。ぜひ頑張ってこの学びを楽しんでください。</p>

実務経験のある教員に関する情報
/ Information about teachers
with work experience

授業計画詳細 / Course schedule

回	内容	備考
1	イントロダクション： ガイダンスとPythonのルール	
2	Pythonの基本： 変数とデータ型	
3	演算子： 算術演算子，代入演算子，比較演算子，論理演算子，ビット演算子，演算子の優先順位と結合則	
4	制御構文： 条件分岐，繰り返し処理，ループの制御，例外処理	
5	これまでの総合課題	
6	開発環境の準備 標準ライブラリ 基本： ライブラリの分類，日付/時刻のデータ型と計算	
7	標準ライブラリ コレクション： シーケンス型（配列），辞書（dict）型，セット（集合）型 ファイルによる入力、文字列操作と正規表現	
8	標準ライブラリ その他： シーケンス型と辞書型を用いた複雑なデータの取り扱い データの視覚化、ファイルへの出力	
9	これまでの総合課題	
10	ユーザー定義関数： ユーザー定義関数の基本，変数の有効範囲（スコープ），引数のさまざまな記法，関数呼び出しと戻り値	
11	ユーザー定義関数 応用： デコレーター，ジェネレーター，関数のモジュール化，非同期処理，ドキュメンテーション	
12	オブジェクト指向構文： クラスの定義，カプセル化，継承，ポリモーフィズム	
13	オブジェクト指向構文 応用： 例外処理，特殊メソッド，データクラス，イテレーター，メタクラス	
14	これまでの総合課題	
15	総合復習	

開講科目名 / Course	基礎プログラミングA(PM8) / Introduction to Programming A
時間割コード / Course Code	P30A2031C
時間割所属 / Course Offered by	湘南キャンパス /
ターム・学期 / Term・Semester	2025年度 / Academic Year 春学期 / Spring Semester
開講区分 / semester offered	春学期 / Spring Semester
単位数 / Credits	2.0
学年 / Year	1,2,3,4
主担当教員 / Main Instructor	櫻井 淳
担当教員名 / Instructor (担当教員所属名 / Affiliation)	櫻井 淳 (情報システム学科 /)
サブタイトル / Subtitle	
研究室 / Laboratory	研究室 (3407)
連絡先 / Contact address	sakuraij@bunkyo.ac.jp
授業概要 / Course Overview	プログラミングがなければ情報社会は成り立ちません。この授業ではプログラミング言語 "Python" を使ってプログラミングの基本的な考え方や作り方を学びます。Pythonは、近年、機械学習やディープラーニング (深層学習) の分野で注目を浴びているだけでなく、国家試験の基本情報技術者試験でも採用されるなど教育分野での活用も期待されています。また、オブジェクト指向言語でもあり、高学年のプロジェクト演習でのソフトウェア開発にも活用できる高い汎用性もあります。プログラミング初心者を対象としますが、経験ある学生は基本を確認する機会として履修をするようにしてください。
到達目標 / Goals	Pythonの基礎的なプログラミンができるようになること。
授業外での学修 (予習・復習) / Study outside of class (preparation and review)	教科書を用いた講義の予習をすることが望ましいが、各回の講義内容に関し、次の講義までに、ノートや教科書を用いた復習を優先すること。
授業外学修時間 / Study time outside of class	各授業回の事前事後で合わせて4時間以上の授業外学修を要する。
評価方法 / Evaluation method	毎回の授業で出すプログラミング課題の提出状況と、期末試験により評価する。
評価基準 / Evaluation criteria	毎回の授業で出すプログラミング課題と期末試験の点数を合算し、60%以上で合格とする。
フィードバック / Feedback	提出された課題の模範解答を適宜公開し、学修内容の深化を促す。
授業で使用するテキスト / Textbooks used in the class	独習Python, 山田 祥寛 (著), 翔泳社
参考書 / References	必要となる場合は、授業内で紹介します。
受講者へのメッセージ / Message to participants	皆さんは将来、上流工程に関わるSEになるかもしれません。その際、プログラミングを知らなければ優秀なSEにはなれないでしょう。また、プログラミングを学習することで、物事を論理的に分析する力や、粘り強く課題を解決する能力も身に着けられます。これらは、将来社会人となる、皆さんにとって、単なるスキルではなく、これからの時代を生きるための重要な教養として大きな価値を持つものです。ぜひ頑張ってこの学びを楽しんでください。

実務経験のある教員に関する情報
/ Information about teachers
with work experience

授業計画詳細 / Course schedule

回	内容	備考
1	イントロダクション： ガイダンスとPythonのルール	
2	Pythonの基本： 変数とデータ型	
3	演算子： 算術演算子，代入演算子，比較演算子，論理演算子，ビット演算子，演算子の優先順位と結合則	
4	制御構文： 条件分岐，繰り返し処理，ループの制御，例外処理	
5	これまでの総合課題	
6	開発環境の準備 標準ライブラリ 基本： ライブラリの分類，日付/時刻のデータ型と計算	
7	標準ライブラリ コレクション： シーケンス型（配列），辞書（dict）型，セット（集合）型 ファイルによる入力、文字列操作と正規表現	
8	標準ライブラリ その他： シーケンス型と辞書型を用いた複雑なデータの取り扱い データの視覚化、ファイルへの出力	
9	これまでの総合課題	
10	ユーザー定義関数： ユーザー定義関数の基本，変数の有効範囲（スコープ），引数のさまざまな記法，関数呼び出しと戻り値	
11	ユーザー定義関数 応用： デコレーター，ジェネレーター，関数のモジュール化，非同期処理，ドキュメンテーション	
12	オブジェクト指向構文： クラスの定義，カプセル化，継承，ポリモーフィズム	
13	オブジェクト指向構文 応用： 例外処理，特殊メソッド，データクラス，イテレーター，メタクラス	
14	これまでの総合課題	
15	総合復習	

開講科目名 / Course	基礎プログラミングA(再履修) / Introduction to Programming A
時間割コード / Course Code	P30A2031D
時間割所属 / Course Offered by	湘南キャンパス /
ターム・学期 / Term・Semester	2025年度 / Academic Year 秋学期 / Autumn Semester
開講区分 / semester offered	秋学期 / Autumn Semester
単位数 / Credits	2.0
学年 / Year	1,2,3,4
主担当教員 / Main Instructor	武藤 剛
担当教員名 / Instructor (担当教員所属名 / Affiliation)	武藤 剛 (情報システム学科 /)
サブタイトル / Subtitle	
研究室 / Laboratory	3309
連絡先 / Contact address	muto@bunkyo.ac.jp
授業概要 / Course Overview	プログラミングがなければ情報社会は成り立ちません。この授業ではプログラミング言語 "Python" を使ってプログラミングの基本的な考え方や作り方を学びます。Pythonは、近年、機械学習やディープラーニング (深層学習) の分野で注目を浴びているだけでなく、国家試験の基本情報技術者試験でも採用されるなど教育分野での活用も期待されています。また、オブジェクト指向言語でもあり、高学年のプロジェクト演習でのソフトウェア開発にも活用できる高い汎用性もあります。プログラミング初心者を対象としますが、経験ある学生は基本を確認する機会として履修をするようにしてください。
到達目標 / Goals	Pythonの基礎的なプログラミンができるようになること。
授業外での学修 (予習・復習) / Study outside of class (preparation and review)	教科書を用いた講義の予習をすることが望ましいが、各回の講義内容に関し、次の講義までに、ノートや教科書を用いた復習を優先すること。
授業外学修時間 / Study time outside of class	各授業回の事前事後で合わせて4時間以上の授業外学修を要する。
評価方法 / Evaluation method	毎回の授業で出すプログラミング課題の提出状況と、期末試験により評価する。
評価基準 / Evaluation criteria	毎回の授業で出すプログラミング課題と期末試験の点数を合算し、60%以上で合格とする。
フィードバック / Feedback	提出された課題の模範解答を適宜公開し、学修内容の深化を促す。
授業で使用するテキスト / Textbooks used in the class	独習Python, 山田 祥寛 (著), 翔泳社
参考書 / References	必要となる場合は、授業内で紹介します。
受講者へのメッセージ / Message to participants	皆さんは将来、上流工程に関わるSEになるかもしれません。その際、プログラミングを知らなければ優秀なSEにはなれないでしょう。また、プログラミングを学習することで、物事を論理的に分析する力や、粘り強く課題を解決する能力も身に着けられます。これらは、将来社会人となる、皆さんにとって、単なるスキルではなく、これからの時代を生きるための重要な教養として大きな価値を持つものです。ぜひ頑張ってこの学びを楽しんでください。

実務経験のある教員に関する情報
/ Information about teachers
with work experience

授業計画詳細 / Course schedule

回	内容	備考
1	イントロダクション： ガイダンスとPythonのルール	
2	Pythonの基本： 変数とデータ型	
3	演算子： 算術演算子，代入演算子，比較演算子，論理演算子，ビット演算子，演算子の優先順位と結合則	
4	制御構文： 条件分岐，繰り返し処理，ループの制御，例外処理	
5	これまでの総合課題	
6	開発環境の準備 標準ライブラリ 基本： ライブラリの分類，日付/時刻のデータ型と計算	
7	標準ライブラリ コレクション： シーケンス型（配列），辞書（dict）型，セット（集合）型 ファイルによる入力、文字列操作と正規表現	
8	標準ライブラリ その他： シーケンス型と辞書型を用いた複雑なデータの取り扱い データの視覚化、ファイルへの出力	
9	これまでの総合課題	
10	ユーザー定義関数： ユーザー定義関数の基本，変数の有効範囲（スコープ），引数のさまざまな記法，関数呼び出しと戻り値	
11	ユーザー定義関数 応用： デコレーター，ジェネレーター，関数のモジュール化，非同期処理，ドキュメンテーション	
12	オブジェクト指向構文： クラスの定義，カプセル化，継承，ポリモーフィズム	
13	オブジェクト指向構文 応用： 例外処理，特殊メソッド，データクラス，イテレーター，メタクラス	
14	これまでの総合課題	
15	総合復習	